

とまこまい 市議会だより

第31号

2020年11月1日発行

TOMAKOMAI CITY
COUNCIL NEWS

編集・発行・お問合せ先：苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839

- 共通記事 第8回臨時会、補正予算の主なもの 2p～ 第9回定例会概要、議会改革検討会 3p～
- 委員会記事 常任委員会4p～ 一般・企業会計決算審査特別委員会等 5p～
- 会派のページ 各会派議員活動報告 6p～
- ピックアップ 「とまこまい市議会だより」アンケートの結果、議会日程のお知らせ 12p



苫小牧市議会 HP

苫小牧市議会

検索

第8回臨時会を開催しました。《令和2年7月17日(金)》

第9回定例会を開催しました。《令和2年9月3日(木)～11日(金)》

令和元年度一般・企業会計決算審査特別委員会を開催しました。《令和2年9月28日(月)・29日(火)、10月1日(水)・2日(金)》



苫小牧市山並みキャラクター
とま子ヨッパ
©2017 TAKUMI

2020たるまえサンフェスティバル 鮭のつかみどり



第9回定例会(令和2年9月3日~11日)

第9回定例会は9月3日から11日までの9日間の会期で、報告5件、陳情1件、議案21件、意見書案1件、決議案1件などの審議が行われました。

今定例会で一般質問に登壇した議員は24名、主な内容として、新型コロナウイルス感染症の関連事項について、現状や今後の対応について質問や議論がなされました。また、コロナ禍の現状から今後の税収減少を危惧し、令和3年度予算について多くの議員から質問がありました。その他に、教育行政、福祉行政、防災行政、環境行政などについて活発に質問や意見・要望が提案されました。

会期の後半には、各常任委員会・特別委員会が開催されました。

※各委員会の内容につきましては、常任委員会・特別委員会の4ページ・5ページをご覧ください。



賛否の分かれた案件

陳情第1号	再審法改正を求める要望意見書提出に関する陳情	不採択	新緑	公明党議員団	民主クラブ	改革フォーラム	日本共産党市議団	会派市民	無所属
賛成	×	×	×	×	×	○	—	×	
各会派所属議員 (金澤俊議長は採決には加わりません)			矢嶋 翼 板谷 良久 竹田 秀泰 木村 秀司 金澤 俊 宇多 春美 山谷 新二 山 秀則	神山 西大 大西 厚子 大野 正和 藤田 広美 池田 謙次	松尾 省勝 岩田 薫 佐々木 修司 橋本 智子 小山 征三	松井 雅宏 越川 慶一 首藤 孝治 牧田 俊之	小野寺 幸恵 原 啓司 富岡 隆	桜井 忠一 谷川 芳一	触沢 高秀

○：賛成、×：反対、△：会派で賛否が分かれた場合、—：採決に加わらなかった場合

国・道および関係機関に意見書を提出

① 香港における人権と民主主義の確保と在留邦人安全確保等を求める要望意見書

議会改革検討会

市議会だよりの発行を終了!

苦小牧市議会だよりは、2011年7月に各会派選出議員でワーキンググループを設置し、仕様や紙面の構成などを検討し発行に向けた準備が行われ、2012年8月にプレ発行、同年11月に創刊号を発行しました。

その後、紙面の充実を図るため、2016年から市民団体や高校生などの意見交換を目的とした市議会だよりフリートークを開催し、わかりやすく読みやすい紙面を目指し試行錯誤を重ねてまいりました。

市議会だよりは、ワーキンググループ設置から10年の節目を迎えることや、この度の市民アンケートのご意見、費用対効果など、さまざまな検討を行い総合的に判断した結果、2020

年度で発行を終了する結論に至り、今後は市議会ホームページやSNSの充実を図るなどの工夫をしながら、進化した情報発信を目指し引き続き検討を行ってまいります。



また、苦小牧市議会における広聴活動の新たな取り組みとして「投票率の向上に向けての取組」をテーマに、明るい選挙推進協議会と議会改革検討会による意見交換を10月19日に開催し、貴重なご意見を頂戴いたしましたので、今後も引き続き議会活動の充実に向けて取り組んでまいります。



「とまこまい市議会だより」アンケート調査結果は苦小牧市議会ホームページをご覧ください。

第8回臨時会(令和2年7月17日)

新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算を可決

第8回臨時会は7月17日、1日間の会期で報告1件、議案3件の審議が行われました。今臨時会では、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付が決定したことを受け、市が提出した新型コロナウイルス感染症対策に関連した補正予算について審議されました。

議員からは、新型コロナウイルス感染症対策に関する現状や今後の対応について、多くの質疑や議論がなされ、いずれも原案どおり可決されました。

学習用ICT環境整備事業費

▶9億9,375万9千円

学習用ICT環境整備、休校時の家庭学習に有用な通信環境整備やオンライン教材の導入。



▶プレミアム付商品券事業

コロナ禍で落ち込んだ地元の消費回復・拡大、地域経済の活性化を目的として市民にプレミアム付商品券を発行。

① プレミアム付商品券事業費

▶5億6,938万9千円【商工費】

プレミアム率20%“一般商品券”とプレミアム率60%“とまチケ”を各10万冊発行。

② 高齢者支援商品券給付事業費

▶1億7,720万円【民生費】

令和2年度に65歳に到達する方に一般商品券(3千円分)を給付。

③ 子育て応援商品券給付事業費

▶8,958万1千円【環境衛生費】

18歳未満の方に一般商品券(3千円分)を給付。

④ 新生児バースデイ商品券給付事業費

▶4,302万円【環境衛生費】

令和2年4月28日~12月31日生まれの新生児・乳児に一般商品券(5万円分)を給付。

経営継続支援事業費

▶2億3,000万円

市内の中小、小規模事業者のうち、前年同月比で30%以上50%未満減少している事業者を対象に10万円を支給。

支援

社会福祉施設等サービス

事業所支援事業費

▶8,077万3千円

市内の社会福祉施設等サービス事業所に1事業所につき20万円の支援金を支給。

支援

経営継続支援事業

(上下水道料金減免関係)費

▶9,200万円(推定額)

水道

保育施設等従事者慰労金給付事業費

▶4,800万円

放課後児童クラブ従事者

慰労金給付事業費

▶879万円

対象期間内に10日以上勤務した対象保育従事者に5万円、その他職員に3万円。

給付

ごみ収集運搬作業員感染防止対策事業費

▶340万円

公共交通事業者等支援事業費

▶1,061万円

公共交通事業者等に対し感染症拡大防止のための取り組み及び今後の事業継続に向けた支援。

交通

雇用調整助成金等申請費用補助金

▶3,050万円

市内の法人または個人事業者の申請手数料を1事業者当たり上限30万円まで補助。

補助

◆総務委員会

◇企業版ふるさと納税が可能に！

越川 慶一 委員長

「再審法制の改正を求める要望意見書提出に関する陳情」については、審査の結果、願意に沿いがたぐ不採択となりました。

また、所管事項の「苫小牧市地域再生計画の認定及び企業版ふるさと納税」については、苫小牧市が策定した地域再生計画が、令和2年7月3日付けで内閣府の認定を受けたことから、苫小牧市においても企業版ふるさと納税の受け入れが可能となります。

企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生事業に対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みで、苫小牧市は総合戦略に掲げた4つの基本目標を実現する事業に対して、企業版ふるさと納税の仕組みの活用を可能とするものです。



委員会風景

◆厚生委員会

◇子どもを虐待から守る。条例の制定を！

宇多 香美 委員長

小規模保育事業所の開設については「ひだまりのもり保育園」一学校法人絆学園一が令和3年4月1日から事業を開始するとの説明がありました。

児童虐待防止対策として、令和3年1月の児童相談複合施設の開設に合わせ「子どもを虐待から守る条例」を制定する報告がありました。条例制定の進め方としては、苫小牧市子ども・子育て協議会に部会を設置し、子ども



委員会風景

の権利利益の擁護、心身の健やかな成長が守られる社会の実現を目的に、市・保護者・市民・関係機関など、それぞれの責務、予防・早期発見、保護者への指導・支援など素案を示し、パブリックコメント終了後、令和2年12月に市議会へ提案・審議し、令和3年1月1日の条例制定を目指します。

◆文教経済委員会

◇観光振興・ビジョン推進事業の進捗状況などを質疑！

大西 厚子 委員長

苫小牧市観光振興・ビジョン推進事業の進捗状況について、評価指標である観光入込客数、観光案内所利用状況、各種イベント観光客動員数の令和元年度の実績と事業結果の報告がありました。委員からは、評価指標の目標設定の在り方、通過型観光からの脱却、僕だけがいない街プロジェクト支援などの質疑が交わされました。



COCOTOMA 内観光案内所

令和元年度対象教育委員会点検・評価報告書について、評価基準の在り方、赤ちゃん絵本のとびら事業、通級による指導の充実についてなどが議論されました。その他では教育現場におけるコロナ対策臨時交付金の執行状況についてなどの質疑がありました。

◆建設委員会

◇日新地区の熱供給事業を議論！

谷川 芳一 委員長

昭和47年から供給を開始している日新地区の熱供給事業は、燃料費の高騰や糸井清掃センター廃炉、市営住宅除却などにより、経営状況は今後悪化することが想定される総合的に勘案した結果、令和5年度をもって事業を終了する予定との報告があり、事業者や市が抱える課題も山積しており、全委員より事業終了に伴うさまざまな影響や、事業者に対して市が補償する補償金額などについて活発な議論が交わされました。



委員会風景

また、水道・下水道広報事業についてでは、公共サービス民間提案制度などを活用した取り組みとして無料給水スポット（表町）やポケモンホール設置などについて報告がありました。

◆特別委員会

◆総合開発特別委員会

◇コロナ禍での米軍機訓練移転！

竹田 秀泰 委員長

8月下旬に実施の「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に対する委員会を閉会中の8月18日に開催しました。説明後の質疑では、コロナ禍における訓練移転の対策など活発な質疑がありました。

また、9月10日に開催した委員会については、米軍再編に伴う米軍機訓練移転に関連する4項目の報告と、国内における米空軍機からの降下訓練中止、陸上自衛隊による戦車等の公道自走訓練についても報告があり活発な質疑がありました。



日米共同訓練 F-15戦闘機

また、中央官庁などへの要望項目の説明、さらに(株)苦東の経営概況について報告があり、企業誘致や分譲地の状況についても質疑がありました。

◆安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

◇市民ホールに関する特別委員会。新たな津波避難ビルと協定締結！

松尾 省勝 委員長

災害時における救護活動として柔道整復師との災害時応援協定の締結及び津波避難ビルとして苫小牧埠頭(株)の温度管理型冷凍冷蔵庫(1,700人の避難が可能)の使用についても災害時応援協定の締結について報告がありました。また、(仮称)苫小牧市民ホール事業の進捗状況については、事業内容、施設概要、民間事業者の選定などが盛り込まれる「要求水準書」について、完成までのプロセス、意見交換の実施方法、コンサルタントの評点など幅広い質疑が行われました。

その他、令和3年4月に供用開始となる防災行政無線の設置に対する進捗状況について質疑がありました。



災害協定締結

令和元年度一般会計決算審査特別委員会

松尾 省勝 委員長

一般会計決算審査では、延べ45名の委員から活発な質疑が展開されました。

質疑項目は77項目にもおよび、市民生活に直結する案件について、それぞれの視点で決算状況の確認やさらなる課題を明らかにした上で、決算を踏まえた今後の取り組みについて論戦が交わされました。決算審査は、市民が納めた税金が適切に執行され、事業の有効性を精査することなどが求められ、そこから得られた内容が今後の市政運営に大きく作用します。

新型コロナウィルスの終息が見通せない中での決算審査となりましたが、今回の議論を踏まえ、各委員から提案された意見や要望が、今後の事業に反映されることを期待します。



一般会計決算委員会

令和元年度企業会計決算審査特別委員会

牧田 俊之 委員長

企業会計決算審査は、3特別会計、4企業会計の7つの会計について決算審査を行い、慎重審査の結果、全ての会計において全会派一致で認定しました。今回の決算審査は1会計が閉鎖され7会計の審査となり、予定の日程で審議を終えることが出来ました。



企業会計決算委員会

審査内容については、各種健診の受診率、持続的な水道運営、病院経営の健全化、市場の民間活力導入など提案を交えた議論、さらに令和2年2月に北海道が発出した緊急事態宣言以降の各会計における新型「コロナウィルス」対策の影響など、76項目、延べ34名の委員から活発な質疑が交わされました。今後については、今回の議論が各種政策や事業に反映されることを期待します。



矢嶋 翼 議員

★**苫東高への理科・英語科設置**
が、学力向上と街の活性化に繋がると提案し、市長は街づくり全体と言いつ意味で大変重要な取り組みと認識しており、時代のニーズは英語外国語・理数科教育なのは事実。しっかりと計画を立てて取り組んでいかなければと答えました。

★**災害時の自衛隊派遣要請の件**
令和元年の台風19号で断水した神奈川県山北町が、給水車出動を県と自衛隊両方に要請したところ、先に到着した自衛隊を、優先順は県にあると町が判断し、自衛隊を帰す事件があり、苫小牧も同様となるのかとの問いに、自衛隊とは口頭から密に連携を図っており、市民最優先の対応をすると答えました。



木村 司 議員

★**令和3年度の予算について**、市の見解は、コロナ禍の現在、国の財政計画の縮減や市の税収の減少

が見込まれ大変厳しいと予想されるが、財政基盤安定化計画で示されている主要事業の40億円の確保を目指したいと答弁がありました。

★**コロナ時代の成長戦略について**
は、従来の労働集約型の工場誘致から、テレワーク時代のオフィス誘致など、視点を変えた成長戦略の構築を求めました。

★**行革プランの課題と今後の取組**
については、総合窓口の開設など市民サービスの充実が図られてきています。ウィズコロナ時代の厳しい財政を見据え、一層の行革を進めることにより、財政健全化への貢献を求めました。



金澤 俊 議員

★**児童虐待「ゼロ」に市民の皆さんで決意を!**今回、令和3年1月からの施行に向け「子どもを虐待から守る条例」の素案が示されました。これまで本市は児童虐待防止に向けさまざまな取り組みを行ってきましたが、児童相談所分室との児童相談複合施設の開設に合わせて、あらためて市全体で児童

虐待防止に取り組む決意を示す形となると思います。将来を担う全ての子どもたちが、「将来こんなことがしたい!」「大人になったらこんな夢を実現したい!」と笑顔で語ることができるようにしていきたいものです。



竹田 秀泰 議員

★**近年、市営墓地用地の返還が増加傾向と無縁墓化を増やさないために「墓じまいの助成制度」を創設できないのか**質問し、早ければ令和3年度より、墓じまい費用を借り入れの際の利子と保証料を負担する想定で金融機関と調整中と答弁がありました。★**消防施設の充実で「女性消防職員の増」を質問し、国からの指導で令和8年まで比率を5%に引き上げること**を目標に努力していくと答弁がありました。★**27年間「消防団員の報酬」が改定されていないが、最近の情勢を鑑み改定できないのか**質問し、改定当時と物価や社会情勢、消防団活動に大きな違いがあるため早急に検討したいと答弁がありました。



宇多 春美 議員

★**市の児童虐待防止対策は、要保護児童対策地域協議会においてさまざまな関係機関との連携で取り組まれ、令和元年5月に「いびり・ひだか児童家庭支援センターしずく」が加わりました。**児童福祉法に規定される相談援助機関で北海道から委託を受け運営。その内容は、保護者の子どもの関わり方などに関する支援、施設から虐待を受けた子どもが家庭に戻る際の支援などです。これまでも「子どもたちが家族や地域から愛情を感じて、自分を大切に生きていくことができるまちづくりを一緒に目指していきたい」と一人ひとりに向き合う支援は温かく、多くの家庭に繋がるよう期待したいです。



板谷 良久 議員

★**行政監査により、指定管理者制度の運用について**調査され、施設管理に関するノウハウの低下や、

担当者の知識不足などが指摘されました。マニュアルでは、新型コロナウイルス感染症対策など、利用者の安全を守る点が十分ではないことを指摘し、今後は、時代に合わせた形で改善や転換を図っていくことを明らかにしました。

★**市民間の優れたノウハウを活用し、市民サービスの向上を図ることを目的とした、「公共サービス民間提案制度」が、令和元年度の事業募集を休止していることを指摘し、市は令和3年度の再開に向けて、制度全体の見直しを行っていることを明らかにしました。**



二多 新喜 議員

★**市内小中学校のコロナ対策における衛生管理体制について**質問しました。また学校における換気対策を十分にするために全校への網戸設置を要望しました。★**市内小中学校における感染者発生時の対応を**質問しました。またコロナに対するいじめや偏見・差別をなくするための指導対応を要望しました。★**教職員のコロナ禍での負担軽減**

策としてスクールサポーターを市内小中学校で採用することを確認しました。★**日本における小児わいせつ罪の高い再犯率を危惧し、イギリスにある「無犯罪証明書」を発行する公的機関を紹介し、今後の子どもに関わる職場での問題提起を**しました。



山谷 芳則 議員

★**児童生徒の不登校への対応**について、増加傾向にあることを踏まえ、1人に1台配備される学習用タブレット端末を活用した対策、私教育との意見交換や研修を計画すること、中長期的に市教育と連携した取り組みを通して私教育にできる部分を業務委託する考えはないのかを質問し、ICTの活用や民間団体との連携も視野に効果的な対策を練ること、中長期的な取り組みをまとめた「不登校対策プラン」を令和3年度にも作成することを明らかにしました。その他に**学校給食におけるアレルギー対応食とコロナ禍における公共施設の使用料**について質問しました。

市民会派

桜井 忠・谷川 芳一



桜井 忠 議員



谷川 芳一 議員

- **一般質問**
- 1. **新型コロナウイルスについて**
陽性者を感染者と発表し、コロナ関連死もコロナ死としている。PCR説明書には「感染症の判断に適さない」と書かれており、コロナ被害を大きく見せている。このままでは自殺者が増えてしまう。指定感染症のランクを落とし、経済を回すべき。(大臣が指定感染症を維持しながら、政令改正を含め検討中)
- 2. **ワクチン行政について**
新型コロナウイルスの賠償責任を企業に負わせず国が救済措置を講じること、ワクチン承認まで時間がかかるものを最後段階を省略するということに危機感を持つ。年齢も55歳以下から打つといわれているが、その年齢では死亡者は5%以下、効果はあるのか。(安全で有効性の高いワクチンが提供されることを期待している。その他には答えられない)
- 3. **新型コロナウイルスによる職員管理**
苫小牧市以外で勤務する職員の管理は適切になされているか。往来自粛期間は守られていたのか。(3月下旬に感染防止対策を施しながら勤務や出張をしていた)
- 4. **一般・事業系ごみについて**
集もりでごみが増えている、3台増車をしたが業者と十分話し合い対応するべき。(家庭は増えているが事業系は減っている、民間の事業に介入は難しい)
- 5. **明徳町の犬舎、飼育について**
住宅街で多数の犬を飼っており、近隣住民から苦情が出ている。(住宅で27頭の犬を飼育している。元年度へ登録完了している。2年苦情があり立ち入り調査をした)
- 6. **市内公園のキツネ出現対策**
街中にキツネが出る。エキノコックスの心配があるので捕獲など対策は。(原因除去に努める)
- 7. **道路占用許可について**
電話線工事などで道路占用許可がいらなと言われたが。(維持管理作業は占用許可申請はいらないうが、作業を把握する必要性から同意書の提出を求めている)



公明党議員団

池田 謙次・藤田 広美・神山哲太郎
大西 厚子・大野 正和



池田謙次 議員

①「デジタル方式の防災行政無線」の進捗状況と地域別の災害や不審者情報の発信に活用すべきとの提案をしました。

②「新型コロナウイルスの予防接種」への助成を提案しました。

③「度重なる各地域での「不審者」の多発を踏まえて「防犯カメラ」

早期設置を求める提案をしました。

④「悲しみの中、遺族の方が手続きに時間がかり、ある意味「たらいまわしになった」との苦情の声も踏まえ、「もう少し早く窓口で

速やかにできないものか」などと「死亡時の相談窓口のワンストップ化」の提案をしました。令和3

年1月から、予約制も導入した上で新スタートを切ります。これで、

「遺族の負担も軽減され、職員の仕事負担も軽減されます。」



藤田広美 議員

総務委員会で企業版ふるさと納税のメリットについて質疑しまし

た。企業側は法人関係税の控除と地域への社会貢献が実現できます。寄付をいただく際には、企業のイメージアップに向け、可能な限り大きくPRするなど次の呼び水になるよう工夫し、自治体側は、財源調達の新たな選択肢となり、地方創生の推進力になると答弁がありました。

また、企業が応援したくなるテーマの設定と現状の受け入れ状況の質疑に対して、対象を幅広くし、テーマの希望があれば複数の事業を提案できること、複数の企業と協議をしている一件は近日中に公表できると答弁がありました。この事業により地域課題の解決に繋がっていくことを願います。



神山哲太郎 議員

①避難所と感染症対策について

3密防止の観点からホテルや旅館など新たな避難所の確保が必要と質問し、分散避難なども考慮し市民周知していくとの答弁がありました。また、防災出前講座ができない状況ではあるが市民向けに

動画などを作成し配信していくように求めました。

②児童生徒の健診データの活用については、文科省での検討会では児童生徒の健康診断情報の電子化を進めています。若小牧市としてどの様に推進する予定なのか質問し、各小中学校の活用状況を確認し、各小中学校の活用状況を確認し、活用できるか研究したいとの答弁がありました。



大西厚子 議員

聴覚障がい者の意思疎通支援について、新型コロナウイルス感染症予防対策として、タブレットを介して手話通訳をする遠隔手話サービスの充実を求めました。

あいさポート運動の充実に向けた内容を提案し、研修目的が損なわれない範囲で独自の内容を企画していくと答弁がありました。

障がい者の防災について、市の防災ハンドブックの「防災対策のススメ」に、障がいのある方の自助に関わる内容を速やかに盛り込むと答弁がありました。

安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会で、(仮称)市民ホールの要求水準書の素案の中に、「こどもの遊び場設置」との表現を書き示すと答弁がありました。



大野正和 議員

各種税金と水道料金のフレジックトカード決済の進捗状況を質問し、令和3年度導入に向けて進んでいることを確認と同時に電子マネー決済の導入を求めました。

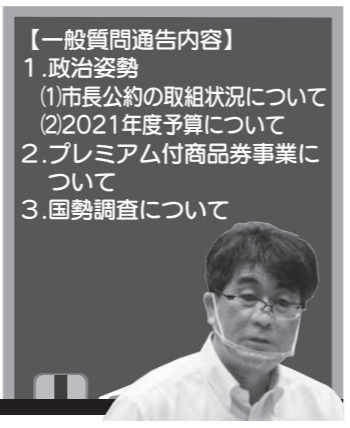
屋内ゲートボール場の利用状況はテニスほか多目的になっていくことを指摘し、名称変更と施設の改修の必要性を説き、使用が少ない和室を含めて全面的に市民ニーズに合う改修を提案しました。令和4年度の指定管理者の更新に合わせて多目的競技の練習施設に改修することを目指していたこと、コロナ禍の今後の予算状況で改めて時期、内容の検討が必要であると答弁がありました。

心のバリアフリーを市内中で呼びかける取り組みと、若者の雇用対策のさらなる推進も求めました。

民主クラブ

松尾 省勝・岩田 薫・佐々木修司
橋本 智子・小山 征三

一般質問 佐々木修司 議員



【一般質問通告内容】
1. 政治姿勢
(1)市長公約の取組状況について
(2)2021年度予算について
2. プレミアム付商品券事業について
3. 国勢調査について

★令和3年度予算について、新型コロナの影響により税収減が想定されますが、地域経済への影響を拡大させないためにも一定の公共工事など予算を確保する必要があります。このことから市の計画目

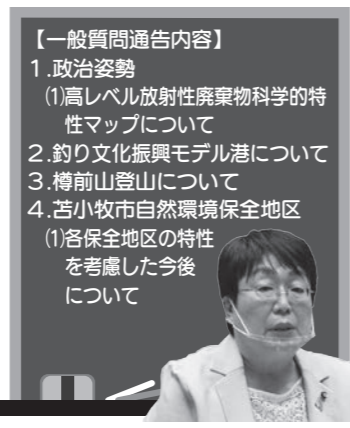
《総合開発特別委員会質疑》 小山征三 議員



議会閉会中の8月18日に、行われた総合開発特別委員会で、日米共同訓練について報告されました。この中で3点について質疑を交わしました。①「コロナ禍において、日米共同訓練の中止を求めないのは何故か」これま

標である「財政調整基金20億円の維持」を下回る判断をする考えがあるか質問しました。市側からは非常事態とも言える状況であるため、場合によっては20億円に手を付けざるを得ない判断もあり得るとの考えが示されました。

橋本智子 議員



【一般質問通告内容】
1. 政治姿勢
(1)高レベル放射性廃棄物科学的特性マップについて
2. 釣り文化振興モデル港について
3. 樽前山登山について
4. 若小牧市自然環境保全地区
(1)各保全地区の特性を考慮した今後について

での訓練で沖縄の負担軽減を検証し、結果を示すべきではないか③8月4日、事前通告なしで千歳基地にオスプレイが飛来した件一の見解を求めました。市側は「沖縄の負担軽減として訓練の受け入れは必要と認識している。負担軽減の検証は求めていく」とし、岩倉市長は「(オスプレイの)軍事訓練は連絡してほしい」と防衛省に求めていく考えを示しました。

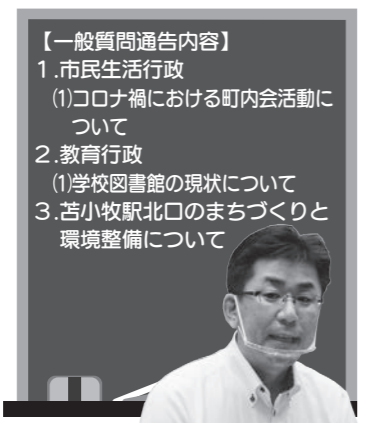
★高レベル放射性廃棄物の最終処分場の昨今の状況を踏まえ、市長に質問しました。「処分場の誘致は考えていない」と答弁しました。

★釣り文化モデル港の若小牧港について今後の取り組みを質問し、海洋観光を要望しました。

★樽前山登山について安全対策と自然環境への配慮を求めました。

★若小牧市自然環境保全地区の5カ所についてその特性を考慮した形で保全または環境教育や観光による活用について質問しました。

松尾省勝 議員

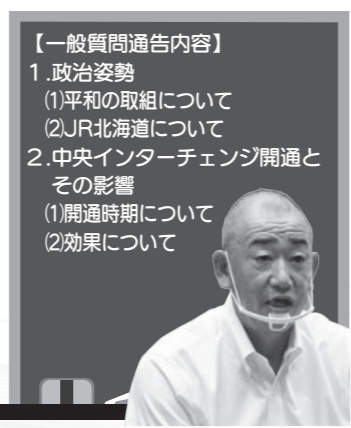


【一般質問通告内容】
1. 市民生活行政
(1)コロナ禍における町内会活動について
2. 教育行政
(1)学校図書館の現状について
3. 若小牧駅北口のまちづくりと環境整備について

★コロナ禍における町内会活動について質問し、市側は、7月に緊急アンケートを町内会連合会で行った結果、84.1%の回答を得て、その中で活動に対する関心が伝わるとの考えを示し、今後の活

動指針や見直しなどを求めました。

岩田 薫 議員



【一般質問通告内容】
1. 政治姿勢
(1)平和の取組について
(2)JR北海道について
2. 中央インターチェンジ開通とその影響
(1)開通時期について
(2)効果について

★平和の取組については、戦後75年が経過し、岩倉市長は「戦争による犠牲者がいて今日の日本があることを次世代にしっかり伝える必要がある」としました。

★JR北海道については、新千歳空港駅のスルー化については北海道の動きや若小牧市の要望などから実現に向けて前進していることに、市からは、北海道の活性化につながることから道内でのコンセンサスを高めた要望に結び付けていくとの答弁がありました。



改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一
首藤 孝治・牧田 俊之



松井雅宏議員



一般質問動画

【特別支援学校の開設】令和3年

4月に開校する特別支援学校の開設に向けた保護者に対する説明会や入学転入の手続き、開校スケジュールを確認した上で知的障がいに加え肢体不自由や医療的ケアが必要な重複障がいのある児童生徒の対応について質問。肢体不自由の児童・生徒の移動には欠かせないエレベーターの狭隘について指摘し運用面での説明と検討を道教委に求めるべきと提言しました。

【見守り強化の補助金】国の第二

次補正予算で成立した子ども食堂などに対する児童虐待の見守り強化の補助金(10%)を本市の支援を必要とする子ども見守り強化に活用することを質問しました。が、担当部から既存の仕組みの中で機能は果たしているとの見解が示されたため、市長に対し見守り機会の拡充の観点から本制度の調査を進め、再考を求めました。



牧田俊之議員



一般質問動画

【053大作戦ステージ5】新型

コロナウイルスの影響により「こみ減量」「リサイクル推進」「環境美化」に関連した事業が実施できない状況を指摘するとともに、レジ袋の有料化後のポイ捨ても減少しない現状から監視カメラの設置を提案し、慎重に検討すると答弁がありました。また、コロナ禍での事業として、オンラインによる手作りマスク紹介や出前講座のリモート開催、環境PR大使の任命、感染防止を図り「053フェスタ」の開催などを計画実施していると答弁がありました。

【電子申請】コロナ禍で電子申請

が注目される中、7月からマイナンバーカードの出張申請サポートを始め利用は好調であるものの普及が進んでいない状況を指摘。国は今後、健康保健証や運転免許証の機能追加も検討しているため、積極的な取り組みを要望しました。



首藤孝治議員



一般質問動画

【コロナ禍における次年度予算の考え方】

コロナにより経済情勢が下降し、市内事業者も大打撃を受けており、現時点においても民間工事が軒並み延期や中止という状況が後を絶たない状態です。ここでさらに次年度の公共事業工事が大幅な縮小となれば市内事業者が事業継続困難に追い込まれる可能性もあることから、次年度予算については慎重な計画が必要であることを指摘し、市は「地場産業や地域経済を守るためには公共事業費を確保していくことが重要と考えており、ほかの事業費とのバランスを取りながら地域経済が疲弊することがないようにしっかりと予算確保に努めてまいりたい」と答弁がありました。その他にeg a o b i l 跡地を含めた街づくり、CAPの取り組み状況、イベント開催時の補助制度についても質問しました。



越川慶一議員



一般質問動画

【地域公共交通計画】今後の人口

減少時代を見据えた地域公共交通の取り組みは重要な課題であり、公共交通サービスを追求しつつ大胆な見直しも必要との考えで質問し、「将来の持続可能な公共交通ネットワーク形成を目標に、重複するバス路線網の再編による運行効率の向上とバスロケーションシステムやキャッシュレス決済の導入による利便性向上が大きな柱になる」と答弁がありました。

【立地適正化計画】今後の街づく

りに「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の概念は重要であり早急に立地適正化計画の策定を提案し、「計画策定の必要性は認識しているが、コンパクトシティの形成には都市計画、公共交通医療福祉、教育、防災、子育てなど街づくりと密接に関連するため全体像を描き地域ごと個別の検討を進める」と答弁がありました。

日本共産党市議団

小野寺幸恵・原 啓司・富岡 隆

●戦車等の公道自走訓練



小野寺幸恵議員

9月1日の深夜に、自衛隊の装甲車など43両が公道を走行した問題で、自衛隊員が車両の上にとったり顔を出すなどしていることから、「有事を想定した訓練ではなくパフォーマン스에過ぎない。まさに慣熟訓練ではないか」と指摘し、走行中止を求めました。

また、8月24日から始まった米軍戦闘機訓練移転において、米軍はPCR検査を実施した上で参加している一方、自衛隊員は未実施のため、地域住民と自衛隊員の命と健康を守る立場からPCR検査の実施を求めました。



富岡 隆議員

●高レベル放射性廃棄物最終処分

高レベル放射性廃棄物の最終処分場の問題について、「北海道に高レベル放射性廃棄物の最終処分場を受け入れないことを、全道市

長会を通じて、国に強く発信すべき」と提案しました。

市民の安全安心を将来的にも担保する上で、「浦河町で制定している『核のこみを受け入れない条例』を制定すべき」との提案には、「市は活火山である樽前山がある」と同時に胆振東部地震の震源地に近く安全性が確保されていないことから設置を受け入れる判断をすることはできない。市独自の条例は考えていない」と答えました。

「核のこみ」を出さないためにも泊原発再稼働中止を求めるべきとの質問には、「新規の原発は認められないが、稼働していた原発は再稼働する必要がある」と答弁しました。

●第8期介護保険事業計画

地域包括支援センターの業務量の増大と要支援の認定が増えている状況で、ケアプランを作成するケアマネージャーが不足している点を指摘しました。

その上で「市の職員を配置しケアマネージャーの人材育成支援に乗り出すべき」と提案しました。

●IR



原 啓司議員

苫小牧IR推進協議会が主催した2016年の北米IR視察に市職員が随行として参加した際「先方の都合による日程の変更で事業者から提供されたプライベートジェット機に同乗した」とされる問題で、「ほかに事業者の費用負担による飲食、観光案内等の接待はなかったのか」と質問しました。

その上で、IR事業者からの接待が想定される他団体の視察に職員を一人で参加させることの市長の認識について質問しました。

また、「苫小牧市と参入を自指すIR事業者は利害関係にある」と指摘し、道内他都市にあるような職員倫理条例や職員倫理規定の制定を提案しました。

「感染症の世界的拡大があれば、インバウンドも期待できない。巨大な利権が絡むIRを巡り政界を巻き込んだ汚職の連鎖もある」と指摘し、IRに頼らないまちづくりへの決断を迫りました。

無所属

高秀 議員

今回の一般質問にあたり新型コロナウィルスについてさまざま調べてまいりましたが、このウィルスに病原性があるのかないのか、いまだ検証されていません。私はこのことが非常に重要と考えております。また、政府やマスコミの情報をもとにしてはいけなさと感じております。これを踏まえ、新型コロナウィルスに対する市の対応について質問しました。

市側は、基本的な感染予防対策を徹底していくことが重要であり、感染原因に対する防御策と免疫力を高める生活習慣の両輪で取り組んでいただけよう周知に努めます、との答弁がありました。市民の皆さまにおかれましては、しっかりと状況を把握していただき、予防も大事ですが自己免疫力を高めることが一番重要ではないかと考えます。今後におきまして市民の皆さまが笑顔で「きげん様でいられるよう努めてまいります。



ピックアップ
とまこまの
知っtoma市議会

「とまこまい市議会だより」アンケート にご協力ありがとうございました。

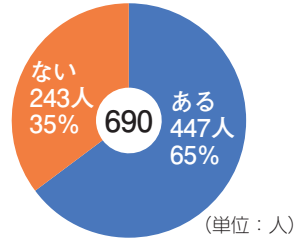
苫小牧市議会では、本紙「とまこまい市議会だより」の今後のあり方の参考とするため、今年4月から5月にかけて、10代（18歳～）から80代までの苫小牧市民2,000人を対象にアンケート調査を行い、706人の方から回答をいただきました。

右グラフのように「読んだことがある」は447人（65%）、
「読んだことがない」は243人（35%）となっており（年代別データ略）、その集計結果の概要についてお知らせします。



アンケート調査表の発送準備

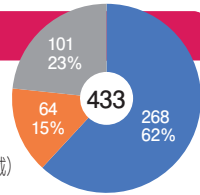
「市議会だより」を 読んだことがありますか。



配布方法についてどう思いますか。

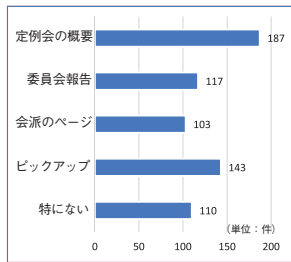
「今まで通り全世帯配布」が268人（62%）で最も多くなっています。（年代別データ略）

■ 全世帯配布 ■ 公共施設 ■ 配布しない（ホームページ掲載）
(単位：人)



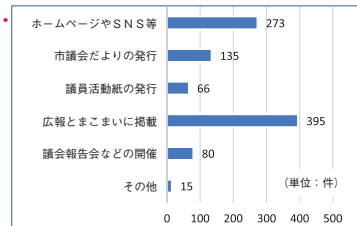
関心のある紙面はどの部分 ですか。（複数選択可）

「定例会の概要」が187件で最も多く、次いで「ピックアップ」が143件、「会派のページ」が103件で最も少なくなっています。



市議会の役割や取り組みを伝える方法について、適していると思われる方法はどれですか。（複数選択可）

「広報とまこまいに掲載」が395件で最も多く、次いで「ホームページやSNS等」が273件、「市議会だより」が135件となっています。
(年代別データ略)



▶意見・要望などの自由記載

「市議会だよりに関するもの」が122件あり、このうち市議会だよりの発行に係る「経費削減の意見」が46件と最も多く、次いで「SNS等の活用」に関する意見が21件となっています。（自由記載事項略）

●アンケート結果を受けて

アンケート調査結果により、議会の情報発信は、適切な時期に、経費を削減した形で、年代の違う市民に対する工夫や会派活動の発信方法の見直しの検討をし、情報発信の方法の変更が求められていることがわかる結果となりました。

結果につきましては、7月16日正副議長へ申し送りし、9月11日議会改革検討会の検討項目として協議されました。詳細は、3ページ「議会改革検討会」をご覧ください。

議会日程のお知らせ

●12月市議会定例会

月 日	内 容	
12月 2日(水)	陳情締切り（17:00 まで）	
12月 3日(木)	本 会 議	報告・一般質問
12月 4日(金)～ 8日(火)	本 会 議	一般質問・議案等審議
12月 9日(水)	常 任 委 員 会	
12月 10日(木)	特 別 委 員 会	
12月 11日(金)	議 会 改 革 検 討 会	
	本 会 議（議案等審議）	

※12月3日、4日から8日までの開始時間は10時(予定)からになります。(11日は未定です)
※日程などについては変更になる場合があります。(土・日・祝日は休会)
詳細は、議会事務局にお問い合わせください。

編 集 後 記

次回で事実上の廃刊が決まった。理由は議会改革検討会の欄の通り(3P)です。「議会だより」の内容は別な方法に移行するというもの。私はただ一人一貫して編集委員を務めていただけに複雑な思いがある。
民主主義はお金がかかるもの、タダではできない。アンケート結果に出ていた読んだことがある人65%をどうみるか。私はIT化が進んでも新聞に頼らなければならない人の声にも大切に耳を傾けなければならないと思うのだが。新たな手法が市民にもれなく情報を届ける手段となしてほしい。

とまこまい市議会だより
編集委員 桜井 忠

とまこまい市議会だより編集委員会

板谷 良久・山谷 芳則・大西 厚子・大野 正和・橋本 智子
越川 慶一・原 啓司・桜井 忠・触沢 高秀